

チェコパビリオンで「堺おもてなし茶会」を実施します －チェコパビリオンとの連携－

堺市では、大阪・関西万博を契機として海外パビリオンと連携し、国内外への堺の魅力発信に取り組んでいます。

このたび、チェコ共和国と堺市との更なる協力及び交流の促進を目的として、大阪・関西万博のチェコパビリオンチームと連携し、「堺おもてなし茶会」を開催します。

チェコ共和国の伝統産業であるボヘミアンガラスの器と堺の伝統文化である茶の湯を融合させ、万博ならではの特別な体験をお届けします。

本イベントを通じて、日本とチェコの文化をつなぎ、新たな相互理解と連携の機会を創出します。

1 日 時

令和 7 年 10 月 9 日（木）

＜第一部＞午後 1 時から ＜第二部＞午後 2 時 30 分から
＜第三部＞午後 4 時から ＜第四部＞午後 6 時から ※各部 40 分程度

2 場 所

大阪・関西万博 チェコパビリオン 大末ホール（大阪市此花区夢洲）

※第四部のみ、屋上テラスで実施



CHANOYU in SAKAI

3 内 容

①立礼様式で茶の湯のデモンストレーションを実施

②ボヘミアンガラスの器を含む茶器を使用し、チェコパビリオンにちなんだ和菓子を添えてお茶を提供

緑の和菓子は、チェコパビリオンのマスコット『レネ』の瞳をイメージしています。ハート形の和菓子は、チェコパビリオンのロゴやチェコ共和国の国章・貨幣などにも描かれ、大切なシンボルであるリンデンの葉（西洋菩提樹）を表しています。



ボヘミアンガラスの器



提供予定の和菓子

4 参加費

無料

5 申 込

①どなたでも観覧可能

②各部での準備が整い次第、パビリオン内で先着受付（各部 10 名程度）

6 チェコパビリオンの概要（チェコパビリオンより）

パビリオンテーマは「人生のための才能と創造性」です。螺旋状のパビリオンは、持続可能性と自然美を体現する木材とガラスを融合させたモダンな木造建築です。館内では、チェコ美術、アートガラス、科学、そして自然を繋ぐインタラクティブな展示をご覧ください。

世界有数のガラスデザイナー、ロニー・プレスルによる巨大なクリスタル彫刻をはじめとする作品が、世界的に有名なセセッション芸術の巨匠、アルフォンス・ミュシャの「岩の上の裸婦」と共に見学ルート上に展示されています。



チェコパビリオン

©Office of the Commissioner General, EXPO 2025

7 本市とチェコ共和国との関わり

本市では、現在のチェコ共和国で生まれた芸術家アルフォンス・ミュシャの作品を約500点所蔵しており、ミュシャ作品を介した芸術文化の発信に取り組んでいます。また、令和元年に在堺チェコ共和国名誉領事館が開所し、同国と日本のお互いの文化理解の促進を図り、「チェコフェスティバル in 関西」を通じて、友好関係を深めてきました。

今年6月、「万博国際交流プログラム※」を活用した交流事業の一環として、同国出身の小説家・劇作家カレル・チャペックの作品「母」を、ブルノ国立劇場の協力のもと、フェニーチェ堺で上演しました。

※内閣官房が主体となり、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流するための枠組み。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：文化観光局 文化国際部 国際課 電 話：072-222-7343 ファックス：072-228-7900
----------------------------	---